

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの経過措置で使用できます。

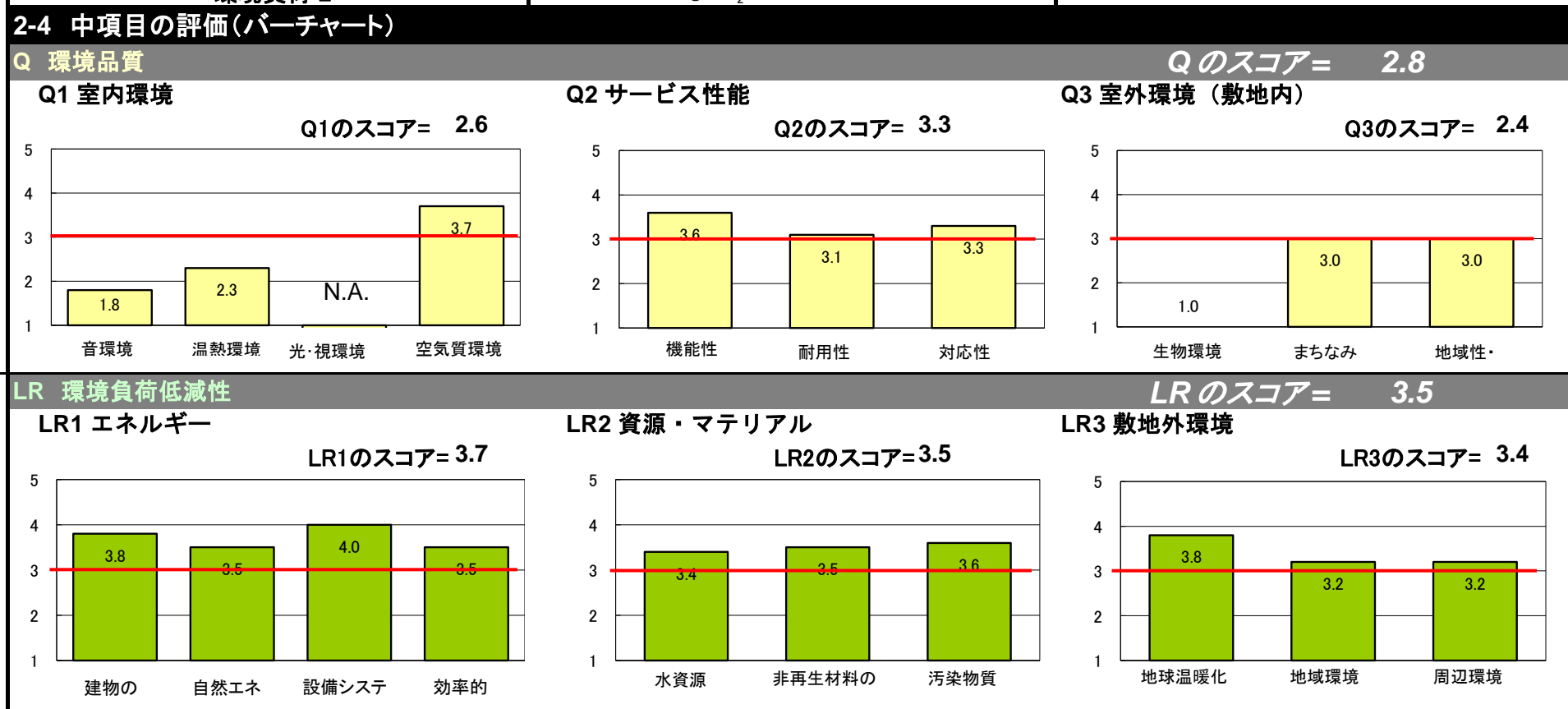
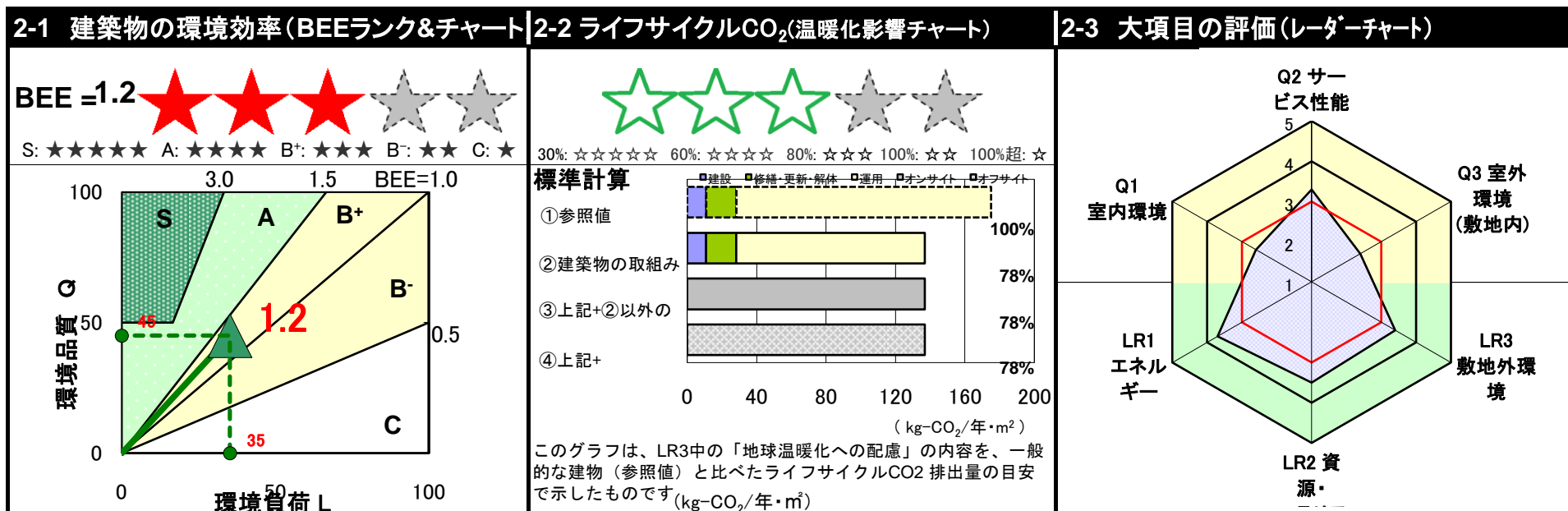
CASBEE® 広島

(2010年ver. 1.8)

評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE広島 2013年追加版Ver.2 (BPI/BEI対応) ■ベース評価ソフト：CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)BPT広島	階数	地上3F
建設地	広島県広島市南区西蟹屋三丁目32	構造	S造
用途地域	市街化区域 広島市民球場周辺地区	平均居住人員	420 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	1,530 時間/年
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年2月 予定	評価の実施日	2014年6月6日
敷地面積	7,468 m ²	作成者	合同会社 H&H設計
建築面積	2,627 m ²	確認日	2014年6月6日
延床面積	4,466 m ²	確認者	合同会社 H&H設計



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.3

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.7	スコア = 1.9	スコア = 3.1
設計の計画上特段に配慮した事項 断熱材の強化、日除けの設置による建物の熱負荷抑制 / 自然採光システム(トップライト、ハイサイドライト)の採用 / LED照明の採用 / 運用、維持、保全の基本方針を計画 / 自動水栓、節水型便器の採用 / リサイクル材の採用 / 高効率機器、LED照明の採用	設計の計画上特段に配慮した事項 適切な空地率、見付け面積により風の通り道を確保 / 水面を設けることで暑熱環境を緩和 / 代替交通手段(最寄り駅から送迎バスの運行)を確保	設計の計画上特段に配慮した事項 耐用年数の長い建材を採用 /

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される